

日刊 勤労千葉

82・6・17

No.1072

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六・公衆)四七(七二)七二〇七

三里塚へねりのうねり反戦・反核

6.15全国総決起集会に二六〇〇名

六月十五日、日比谷野外音楽堂において、「三里塚二期工事阻止・日米安保粉砕六・一五全国総決起集会」が開かれ、勤労千葉をはじめ全国各地で三里塚と住民闘争を闘う団体を中心に、二六〇〇名が結集し、戦争にむけた反動攻勢を阻止するために、三里塚を先頭に反戦・反核の闘いに決起することを確認した。

三里塚を闘うがゆえの弾圧を許すな

明石住民の会・加辺さん、東京実行委員会・丸山さんの司会のもと、「三里塚を闘う多くの仲間が、大きなうねりをつくり出してきている。反戦・反核の先頭に立ち、新たな決意と責任を担って闘いたい」とのあいさつで始った。

最初に、三里塚を闘うがゆえに弾圧がかけられている団体からの、闘いの報告と決意表明が行なわれた。

意岐部東小学校の辻岡先生は、「教育労働者として偏向・教科書改悪・君が代などの攻撃を粉砕していくことが教育の神髄だ。狭山・三里塚・反天皇を闘う我々への弾圧を必ずや粉砕しきる。いかなる弾圧をうけても、たくましく勝ちぬけば、不当な弾圧を粉砕できるし、この闘いを三里塚に結合して闘うとき、三里塚の勝利を実現できる」と述べられた。

つづいて、荒本支部の仲間からは、「侵略戦争を阻止し、反動攻勢と対決する以外に部落の解放はないと、三里塚を自己解放の闘いとして闘ってきた。物取り主義・融和主義につかり、侵略戦争の旗をふる潮流を打倒しなければならぬ」との断固たる決意が述べられた。

七・四、三里塚現地集会へ総結集せよ

―主催団体あいつつ―

主催団体を代表して東京実行委員会の浅田代表世話人、砂川の岡さん、沖繩民権の会の古波津さん、北富士の渡辺会長から、それぞれ、闘う立場からの決意が表明された。ここでは、三里塚二期着工攻撃、立川基地の再軍備化、沖繩の核基地、東富士道路建設こそ軍事大国化・改憲Ⅱ戦争にむけた反動攻撃であること。三里塚を先頭とする全国住民闘争の

関係の報告と決意表明を行う片岡教習部長



結集以外に反動攻勢を阻止する勢力はないこと。安保体制を粉砕し、反戦反核の闘いの大きなうねりを三里塚を軸にかちとること。そのために、七・四現地集会の大結集を実現することが訴えられた。

一切をかけて三里塚闘争の勝利をかちとろう―基調報告―

淡路町反対同盟の永井さんの基調報告は、第一に、政府・公団の卑劣な同盟破壊攻撃を打ち破り二期着工阻止に決起すること。第二に、日帝・鈴木の大軍事大国化にむけたさまざまな反動攻勢の激化のなかで、五・二三反核東京集会四〇万の巨大なうねりを、三里塚へ総結集させるために闘うこと。第三に、三里塚を闘うがゆえにかけられている、勤労千葉、荒本支部、意岐部東小への弾圧こそ二期攻撃そのものであり、二期勝利を駆け粉砕すること。第四に、軍事大国化攻撃の重要な環をなしている北富士、砂川、日本原、反原発、沖繩など各地の闘いを全人民共通の闘いとして勝利しこれに敵対する革マル派をあらゆる戦線から一掃することが提起された。

協賛団体、勤労千葉・三里塚芝山連合空港反対同盟が決意表明

協賛団体からは、まず勤労千葉を代表して、関川委員長が、「第二臨調、国鉄労働者への誹謗・中傷、闘う労働運動・住民運動つぶしを打ち破るため、六・五集会を開催し大成功をかちとり、今日、この集会に参加した。五・二三の四〇万のうねりを、関西に、北富士に沖繩に巻き起こそう」と訴えた。

三里塚芝山連合空港反対同盟からは、北原事務局長、熱田さん、市東さん、小川喜平さんから「人民の未来は三里塚にかかっており、同盟の基本路線をまっとうし、廃港まで闘う」との力強い決意が表明された。

集会終了後、常盤橋公園までのデモで多くの労働者・市民に訴えた。

「空港設置」閣議決定16周年弾劾、「話し合い」攻撃粉砕、二期阻止・空港廃港

7・4三里塚全国総決起集会

7月4日(日)正午 三里塚第一公園